

ふるさと納税が海外へ？寄付の使い道に疑問

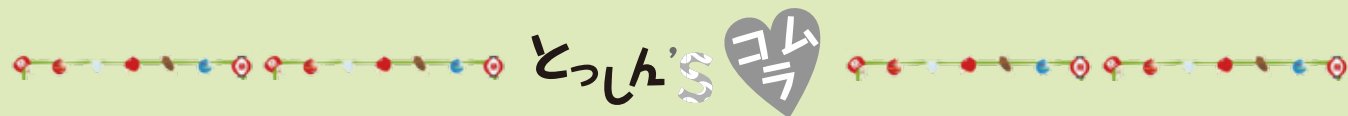
瀬戸内市は、ふるさと納税制度を活用して、ウクライナをはじめとする世界各地の難民支援のために国連 UNHCR 協会を通じて UNHCR に寄付しています。今年で 4 回目、ふるさと納税を利用して 3 回目の寄付になります。

令和 4 年 4 月 25 日、国会で黒石市長のお仲間の立憲民主党の古賀ゆきひと参議院議員が行政監視委員会で、『ふるさと納税でウクライナへの寄付を募る自治体がある。地方税が国外にまで流出していくと違和感が残る行為である。』と疑問を投げかけています。このことでわかるように、国会で問題になるようなやり方であり、アウトではないにしてもかぎりなくグレーだということです。

くさかとしこの一言！

寄付金は、個人の自由な意思の上に成り立つものであり、反対の声があれば成立しないものと考えます。私はこの寄付には今後もずっと反対し続けます。

今回、市長もかわったことですし、このふるさと納税の寄付を寄付するやり方は、もうやめるべきだと思います。



今回の選挙も、支えてくださる人々のありがたさを本当に実感しました。ありがとうございます。

初日で選挙が終わる想定から夕方急遽選挙続行となり、モチベーションの維持に苦労しました。

5 月 25 日から 5 月 31 日まで、皆さまに支えられて、7 日間戦い抜くことができました。本当にありがとうございます。

【くさかとしこ】事務所では、毎日出発の前に出発式が行われました。出発式では、書道ガールのパフォーマンスで盛り上げてもらいました。

5 月 25 日 『さあがんばろうぜ』 の言葉で始まりました。マイク納めでは、『やり残したことはないか』に対し、『やり残したことはありません。ただただあるのは、感謝だけです。』としめさせていただきました。本当に皆さま、ありがとうございます。



行政 NEWS

とっしん

vol
49

毎日暑い日が続いていますが、皆さまにはお変わりございませんでしょうか？

おかげさまで、4 期目の市政へと足を踏み出すことが出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです。

最後のコラムに選挙風景をのせています。どうか最後まで、ご覧ください。

どうか今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

今回の選挙は、若い黒石市長の登場で瀬戸内市初めての SNS 選挙となりました。違和感を覚えることが多数ありますが、少しずつ語らせていただきます。

少しでもこの行政ニュースを通じて、市政に関心を持っていただけるよう頑張っまいります。

今後ともよろしくお願いいたします。



これは、干瓢です。手作りの干瓢が美味しいので、今年は干瓢を育ててみました。懐かしい風景ですね。

明るい明日（あした）を作る会

今議会、ずっと私を育ててくれた竹原議員が勇退され、若い原田議員となりました。8 年間、竹原議員と 2 人で【創流クラブ】としてやってきました。創流クラブとは、私たちが議会の流れを創るという思いで名付けていました。

今回、私と原田議員に、厚東議員、小谷議員が加わり 4 名の会派となりました。選挙を戦う中で、市民が望んでいるのは大きなことではなく、ちょっとよくなったと思える明日だということをしみじみと感じました。なので、そんな明日を目指す、そしてそんな明日を作ることを目指す会派にしたいと考え、【明るい明日（あした）を作る会】と命名しました。

よろしくお願いいたします。

議会は、議会改革に取り組むことにしました。議会体制が変わる 2 年後を目指して、結果を出します。

● 陳情、請願の取り扱いを明確化します。

● 議会 BCP を策定します。

瀬戸内市議会は 2015 年、市議会における災害対応規定を設けています。いつ起きてもおかしくない大規模災害や感染症の流行など非常時においても議会としての機能を維持するために、議会 BCP（議会業務継続計画）の策定が必要です。

● 議会報告会の見直しをします。

● ハラスメント条例を検討します。

瀬戸内市議会は 2008 年議会議員政治倫理条例を制定しました。昨今、ハラスメント防止に関して、単独条例を制定している自治体が増えています。瀬戸内市でも、制定するしないも含め、しっかり調査研究してまいります。

令和 7 年 8 月 1 日発行

発行責任者 瀬戸内市議会議員

くさかとしこ

〒701-4273

瀬戸内市長船町磯上 569

TEL/FAX0869-26-6420

携帯 TEL090-5702-8336

ホームページ

<http://www.kusaka-toshiko.jp/>



【くさかとしこ】の代表質問を通して

今回の私の代表質問は
1. 新市長の市政運営について
を取り上げさせていただきました。

今回、【明るい明日を作る会】の代表として質問しました。
今回は、新市長の市政運営についてだけにしました。

議会よりも先に市民へ？ SNS 時代の市長発信に感じた違和感

今回の選挙は、瀬戸内市とは思えない最先端の SNS 選挙でした。まるで、ここは兵庫か東京かと思うようなものでした。

先日の議会運営委員会でも問題提起させていただきました。

私は選挙から市長の動画をみるのが習慣化してしまい、市長が今議会の議案の不妊治療・邑久高校の2・3年生の教科書無料化について動画で発信されているのを聞きました。まだ私たち議員は議案説明をおおざっぱに受けただけの時に、市長が市民にむけて議員が知らない情報を話している。

そして最後に【議会を無事通過するまでお待ちください。】というお知らせが入る。

これから議員が議会の委員会で執行部としっかり議論する前に情報はちまたにあふれ、市民を人質にとったかのごとく議会に対して動画で圧力がかけられる。これって、大変違和感があります。

市長はどのように感じられるのか、またこうして動画で議会よりも早く市民に知らせる意味・目的を尋ねました。

くさかとしこの一言！

市長からは、議会軽視というのではなく、日下市議との日頃のコミュニケーションの浅さが招いたことと反省をしている、と的外れな返答をもらいました。

私は、これからも良いことは良い、おかしいことはおかしいとはっきり申し上げると、是々非々を貫く意思をお伝えしました。

前市長は、本当に市民との距離が近かったと私は思います。気楽にどんな小さな催しにも足を運び、市民との対話を大事にされていました。

縁もゆかりもない黒石市長にこそ、瀬戸内市の各地域を訪れ、市民の生活や風土を直接見て感じていただくことが大切だと考えます。地域ごとに異なる特色や、市民の努力が形づく瀬戸内市の姿を、ぜひ知っていただきたいとお願いしました。

.....

長船駅整備、これで終わり？ バリアフリー化と駐車場の再検討を

駅前整備計画が出されたのが平成28年の短期計画で、トイレの水洗化、洋式化、駐輪場、駐車場整備、ロータリー整備が計画されました。令和2年に工事が始まり、あれから5年大富駅と長船駅は整備が完了し、邑久駅が残っている状況です。

短期計画の終わりが見えた今、今後の中・長期計画はどうなるのか、今こそ、長船駅の本当の課題であるバリアフリー化について考えるときだと主張しました。

長船駅の課題は、

- バリアフリー化（エレベーターの設置）
- 駅の玄関でもある駅前道路の整備（駅前から長船クリニックに向けての狭い道路の解消）
- 以前の半分以下になっている長船駅の駐車場です。

整備前は長船駅の駐車場は85台ありました。しかし今は35台になってしまいました。

平成28年10月3日のJR駅前等整備検討委員会からの参考資料には、邑久駅の駐車可能台数が49台、1日平均利用率が37台、長船駅の駐車可能台数が85台、1日平均利用率が59台という調査結果が出されています。

邑久駅は2億円をかけて商工会を移転し駅を広げ、駐車場も減る分を1か所増やして2か所にして8台減るだけの41台あります。邑久駅は平均駐車台数を満たしているのに、長船駅は平均駐車台数をはるかに下回って85台の駐車場が半分以下の35台に減ったままです。これっておかしくないでしょうか。絶対に納得ができません。

くさかとしこの一言！

こう言い続けていますが、今議会の議員の質問に、長船駅南公共用地を駐車場に検討する、と答弁がありました。

そして、いつもの新市長が動画で、『長船駅に新しい駐車場をつくる計画を始めます。うまくいけば数カ月で完成します』と発信されています。

私はこの発信にまたまた、ものすごく違和感があります。長船駅は短期計画の駅前整備が完了し、もう予算はありません。予算もない、計画もまだない、議会には今日の委員会で初めてチラッと触れただけなのに、すぐにでも出来るかのような発信は、議会軽視以外のなにものでもありません。あくまで提案するのは市長かもしれませんが、決めるのは議会です。議会に提案のないことには実現はありません。

それに、この長船駅南公用地を駐車場にしたとしても、10台ほどのことです。半分以下になってしまっていると申し上げているのに、10台の駐車場でごまかされるわけにはいきません。そして、この長船駅南公用地を駐車場として使うとすれば、進入路があまりにも狭すぎます。危険です。こういったことを一つずつ議論して前へ進めていくのが、行政と議会のあるべき姿です。頑張ります👊

.....